

会 議 録

審議会等の 名 称	令和4年度 瑞穂市防災会議 令和4年度 瑞穂市国民保護協議会
開 催 日 時	令和5年3月20日(月曜日) 午後1時30分から午後2時20分
開 催 場 所	瑞穂市総合センター 5階 第4会議室
議 題	1. 瑞穂市地域防災計画修正(案)について 2. 瑞穂市国民保護計画修正(案)について 3. 報告事項 ・市防災事業について
出 席 委 員	<p>会長 森 和之 (瑞穂市長)</p> <p>委員 板垣 修 (国土交通省 中部地方整備局 木曾川上流河川事務所 所長)</p> <p>委員代理 永治 勝 (国土交通省 中部地方整備局 岐阜国道事務所 管理第一課長)</p> <p>委員代理 鈴木 健太 (北方警察署 警備課長)</p> <p>委員 梶浦 要 (瑞穂市 副市長)</p> <p>委員 山本 康義 (瑞穂市 企画部長)</p> <p>委員 佐藤 彰道 (瑞穂市 健康福祉部長)</p> <p>委員 桑原 秀幸 (瑞穂市 都市整備部長)</p> <p>委員 矢野 隆博 (瑞穂市 環境水道部長)</p> <p>委員 服部 照 (瑞穂市 教育長)</p> <p>委員 竹中 宏樹 (岐阜市消防本部 瑞穂消防署 署長)</p> <p>委員 広瀬 真 (瑞穂市消防団 団長)</p> <p>委員代理 宇佐美 隆介 (西日本電信電話(株) 岐阜支店 災害対策担当課長)</p> <p>委員 米塚 智宏 (東邦ガスネットワーク(株) 北部事業所 所長)</p> <p>委員 若園 明裕 ((一社) もとす医師会 会長)</p> <p>委員 豊田 鐘三 ((一社) 岐阜県LPガス協会 本巣支部 支部長)</p> <p>委員 加藤 裕貞 (瑞穂市自治会連合会 会長)</p> <p>委員代理 吉田 明貴子 ((福) 瑞穂市社会福祉協議会 総務課長)</p> <p>委員 林 洋子 (瑞穂市女性防火クラブ連絡協議会 会長)</p>
欠 席 委 員	<p>委員 鈴木 猛久 (岐阜県危機管理政策課 岐阜地域防災対策監)</p> <p>委員 奥田 雅之 (岐阜土木事務所 所長)</p> <p>委員 田中 哲也 (中部電力パワーグリッド(株) 岐阜営業所 所長)</p> <p>委員 毛利 謙三 ((一社) もとす歯科医師会 会長)</p> <p>委員 梅田 裕治 (本巣地区トラック協議会 会長)</p> <p>委員 瀧 修一 ((公社) 岐阜県バス協会 会長)</p> <p>委員 松野 守男 (瑞穂市緊急対策協力会 会長)</p>

公開・非公開の区分	公開
傍聴人数	0人
審議の概要	<p>開 会</p> <p>瑞穂市防災会議及び瑞穂市国民保護協議会の委員が同じであるため、同時開催とする。</p> <p>1. 会長（市長）挨拶</p> <p>令和5年度は、瑞穂市市制施行20周年となり、3つのテーマ（平和の維持・人権の尊重・環境の改善）で多くの事業を進めていくので参加をお願いしたい。</p> <p>今回は、国の防災基本計画や県の地域防災計画の修正などを受けての「瑞穂市地域防災計画の修正」及び「瑞穂市国民保護計画の修正」の審議について、委員の協力をお願いする。</p> <p>2. 会議の運営方法について</p> <p>委員25名中、会議出席者は18名で過半数以上であり会議は成立する。</p> <p>会議録は要点筆記とし、発言者名等はすべて公表とする。</p> <p>事務局作成の会議録の確認は、会長（市長）と広瀬真委員（瑞穂市消防団団長）が行う。</p> <p>3. 議題（1）瑞穂市地域防災計画修正（案）について</p> <p>改正内容について、資料（令和4年度瑞穂市地域防災計画の修正の概要）に基づき事務局より説明。</p> <p>【質疑・意見等】</p> <p>◆豊田 鐘三委員（（一社）岐阜県LPガス協会 本巣支部 支部長）</p> <p>一般対策編では「災害発生時」を「災害時」と修正しているが、地震対策編の第2章第3節の1方針では、「地震災害発生時」となっている。「地震災害時」か「災害時」とした方がよいのではないかと。</p> <p>○事務局</p> <p>地震対策編と一般対策編の用語を合わせていくのか、一度持ち帰り検討する。</p> <p>4. 議題（2）瑞穂市国民保護計画修正（案）について</p> <p>改正内容について、資料（令和4年度瑞穂市国民保護計画の修正の概要）に基づき事務局より説明。</p>

【質疑・意見等】

特になし

5. 議題（3）報告事項について

市において、令和4年度に実施した防災事業及び令和5年度に予定している防災事業の主なものについて事務局より説明。

【質疑・意見等】

◆加藤 裕貞委員（瑞穂市自治会連合会 会長）

令和4年度は、朝日大学で避難所訓練と柳一色地区合同で防災訓練を行ったが、避難所である朝日大学の施設内に入れないことがあるので訓練時に市民に公開できるよう調整してほしい。

○事務局

令和4年度の朝日大学での避難所訓練時には、一部施設が公開されたのみであったため、令和5年度に向けて、より多くの施設が公開できるよう朝日大学と日程等を含め調整を行いたい。

◆広瀬 真委員（瑞穂市消防団 団長）

地域の防災訓練に消防団員も積極的に参加し、市民と密着した消防団であるよう取り組んでいきたい。

今後も、瑞穂消防署と協力しながら市民の安全のために努力していきたい。

◆若園 明裕委員（(一社)もとす医師会 会長）

災害時、医師が避難場所に出向いてほしいとの要望があるが、それより各クリニックを早期に稼働させ、そこで診察を行った方がよいのではないかと。

避難場所へ出向いての活動は、かなり大規模な災害と想定しているがどうか。

○事務局

災害の規模や避難所の数などの関係もあり、どれだけの医師が医療体制を取ることができるのかはわからないが、もとす医師会様と連携しながら、災害状況に応じてできる場所で対応していくしかないと考えているので、万が一のときはご協力をお願いしたい。

閉 会

事務局
(担当課)

瑞穂市 企画部 市民協働安全課
TEL 058-327-4130
FAX 058-327-7414
e-mail siminkyo@city.mizuho.lg.jp